

CONTENTS

キヤノンMJグループについて

- 1 キヤノンマーケティングジャパングループNOW
- 3 セグメント別業績概況

キヤノンMJグループの価値創造

- 7 キヤノングループ企業理念
- 8 キヤノンマーケティングジャパングループのサステナビリティ経営
- 9 社長メッセージ
- 15 沿革
- 17 価値創造プロセス
- 19 事業活動
- 21 企業価値を構成する各種資本
- 23 長期経営構想(2021-2025)
- 25 中期経営計画(2021-2023)

セグメント別事業戦略

- 27 セグメント別事業戦略概況
- 29 コンシューマセグメント
- 31 エンタープライズセグメント
- 33 エリアセグメント
- 35 プロフェッショナルセグメント
- 37 アナリストによるITソリューション事業の評価

サステナブルマネジメント—ESGの取り組み

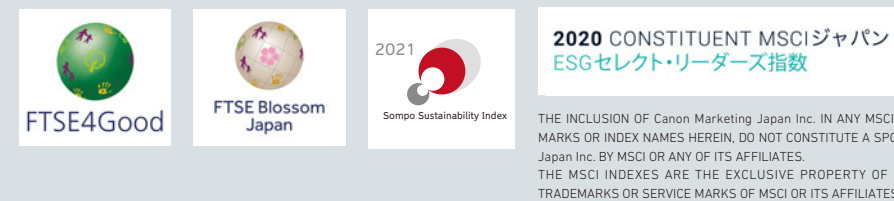
- 42 環境
- 44 社会
- 47 コーポレート・ガバナンス
- 55 取締役および監査役

財務・ESGデータ・会社情報

- 57 10年間要約財務情報
- 59 連結財務諸表
- 67 ESGデータ
- 69 キヤノンマーケティングジャパングループ
- 70 会社情報

第三者評価

キヤノンMJは、FTSE4Good Index Seriesに17年連続で組み入れられており、2017年度より4年連続でFTSE Blossom Japan IndexとSNAMサステナビリティ・インデックスの構成銘柄に選定されています。また、2018年よりMSCI社が開発したESG総合型指数「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に選定されています。

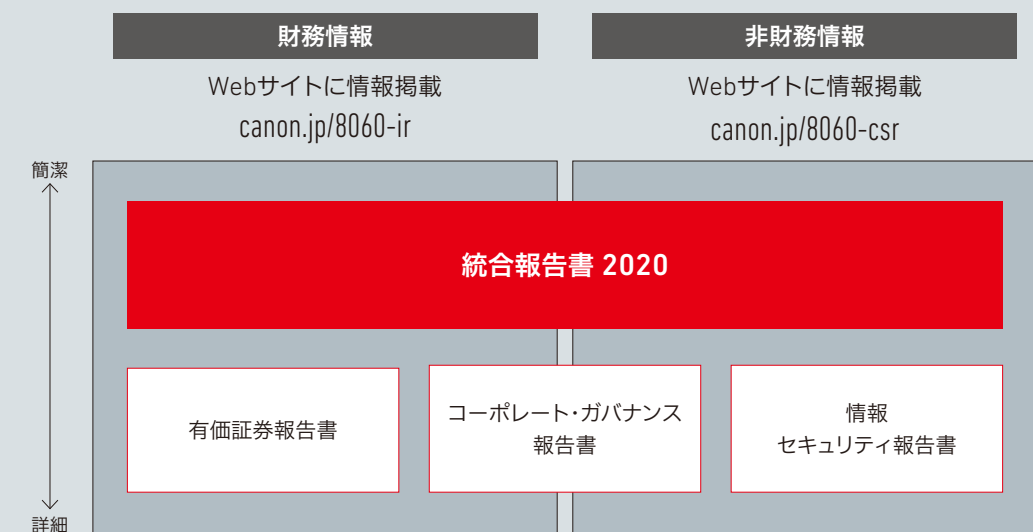


編集方針

キヤノンMJグループの統合報告書は、さまざまなステークホルダーの皆さまがキヤノンMJグループの企業価値創造について理解するのに必要な情報の提供を目的としています。

統合報告書2020では、持続可能な社会の実現に向けたキヤノンMJグループの中長期的な価値創造能力をご紹介するため、長期経営構想(2021-2025)、中期経営計画(2021~2023)などを掲載するとともに、従来のCSR報告書等を統合報告書に一本化し、ESGなどの非財務情報をより一層充実させています。また、財務面の詳細な情報はウェブサイト、有価証券報告書などで、サステナビリティ活動関連の詳細な情報はウェブサイトでご覧いただけます。

開示情報の種類と位置付け



参考としたガイドライン

国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

対象期間

2020年度(2020年1月1日~2020年12月31日)
(一部に2019年度以前および2021年度以降に予定されている活動や情報も含んでいます。)

対象範囲

キヤノンマーケティングジャパン株式会社および国内外のグループ会社
(一部に親会社であるキヤノン(株)の内容を含んでいます。)

会社名の表記

本報告書中、会社名を下記の略称で表記する場合があります。
キヤノンマーケティングジャパングループ → キヤノンMJグループ
キヤノンマーケティングジャパン株式会社 → キヤノンMJ

見通しに関する注意事項

本統合報告書には、キヤノンMJグループの将来の業績、経営計画などの将来に関する見通しが記載されています。これらはすべて本報告書の発行時点で有効な情報を考慮に入れた経営陣による仮定に基づいています。

このため、日本および他の主要な海外市場における消費者動向、民間設備投資、主にドルに対する為替変動、原料価格、特定の国ないし地域における政治的混乱などの要因が、実際の業績に影響を及ぼす可能性があります。